

岩手県港湾利用促進プランの概要について

岩手県港湾を取り巻く情勢・課題

○東日本大震災津波からの港湾・海岸施設の復旧及び復興道路・復興支援道路の整備

- ・損傷を受けた港湾施設の復旧
- ・三陸沿岸道路、東北横断道路釜石秋田線、宮古盛岡横断道路等の復興道路・復興支援道路の整備

○東日本大震災津波からの取扱貨物量の回復基調

- ・港湾の取扱貨物量は震災以前の水準に回復
- 取扱量のうち、大船渡港が48%、釜石港が39%を占める。
- 特に釜石港及び大船渡港でコンテナ貨物の取扱量が増加
- ・釜石港背後地において太陽光パネルの物流拠点が建設
- ⇒ 取扱貨物量の増大による、寄港船舶の増加が期待される
- ・空コンテナの不足による港湾利用への制約
- ⇒ 空コンテナの確保などサービス向上による県内港湾利用への誘導
- ・定期コンテナ航路開設機運
- ⇒ コンテナ船の増便や大型化への対応

○宮古港と室蘭港を結ぶ定期フェリーの開設計画公表

- ⇒ フェリー関連施設の整備
- ⇒ 就航後にフェリー航路の維持

○完成自動車の移出の休止

- ⇒ コスト削減のための環境整備

○バルク貨物輸送への要請

- ・久慈港のバイオマス発電の原材料“ヤシ殻(輸入)”の取扱要請
- ⇒ 各港における新規バルク貨物の掘り起こし

○企業立地に関する動向

- ・大船渡港 永浜・山口工業用地の造成
- ・国際リニアコライダー等、研究・開発機関の誘致
- ⇒ 雇用拡大による地域振興を図るため企業誘致を推進

○東日本大震災津波からの防潮堤・防波堤等の復旧が進捗

○県内各港において港湾BCP策定

- ⇒ 港湾BCPの体制・運用の充実

○就労者や利用者の避難環境の整備の動き

- ⇒ 避難路等の確実な避難ができる環境整備
- ⇒ 被災経験の伝承

○震災を想定した港湾間の連携の動き

- ⇒ 巨大地震等に対する支援体制の構築

○インフラ施設の機能維持対策

- ・港湾施設・海岸保全施設の老朽化の進行
- ⇒ コストを抑制した効率的な維持管理

○岩手県の豊かな観光資源を活用した交流の拡大

- ・クルーズ船寄港の増加
- ⇒ 観光客と地域住民の交流機会を増やす取組
- ⇒ 内陸観光地との連携の取組
- ・海のふれあい拠点の整備が進捗
- ⇒ ふれあい拠点を活用した海への理解促進と海辺の賑わい創出

○低炭素型社会の実現に向けた動き

- ・CO2削減に向けた取組機運
- ⇒ モーダルシフトの推進

○循環型社会の実現に向けた動き

- ・リサイクルの推進に向けた取組機運
- ⇒ 産業副産物の再資源化

○海域環境の改善

- ・臨海部の開発や災害等により自然・生態系への影響懸念
- ⇒ 港湾の環境保全の取組

岩手県港湾の将来像 キャッチフレーズ

世界を結び 未来を拓く
～岩手のみなど～

【目標1】

復興による新たな社会資本を生かした物流・産業拠点の形成

物流・産業

【目標2】

安全・安心な港湾の実現

防災・減災

【目標3】

海上からの観光客と地域住民の交流を通じた賑わいの創出や豊かな環境の形成

観光・環境

具体的取組案

【施策1-1】地域の強みや個性を生かした物流効率化と連携強化

(1)コンテナ貨物輸送の効率化

- ①コンテナ貨物を集約するとともに、産業が集積する内陸と港湾との効率的な物流ネットワークを形成し、コンテナ貨物の県内港湾利用拡大による定期航路の充実 **継続**
- ②コンテナラウンドユースの取組により、空コンテナの効率的な調達 **新規**

(2)フェリー航路開設の環境整備と利用促進

- ①宮古～室蘭間のフェリー航路開設の環境整備 **新規**
- ②フェリー貨物の集荷と利用の促進 **新規**

(3)完成自動車輸送の再開

- ①釜石港で“完成自動車輸送”の早期再開を目指す **継続**

(4)バルク貨物輸送の掘り起こし

- ①各港の主要貨物を基本に新規貨物の掘り起こしを目指す **継続**

主な取組

- ・コンテナ貨物の「釜石港」「大船渡港」への集約
- ・ガントリークレーンの整備等荷役機能の強化に対応したポートセールスの実施
- ・定期航路開設や増便に向けたニーズ把握調査を実施し、ポートセールスを展開
- ・コンテナラウンドユース協議会の設立と社会実験の実施を検討
- ・一般貨物等の荷役作業との調整や入出港方法の検討
- ・民間活力を導入したターミナルの整備運営の検討
- ・市、国、県からなる利用促進協議会を組織し、貨物及び旅客の確保
- ・西日本地域と結ぶフェリー航路開設を目指したポートセールスの実施
- ・湾口防波堤、東北横断自動車道釜石秋田線、防潮堤等の完成を目的として釜石港利用のメリットを訴求

【施策1-2】新たな企業誘致・産業の振興

- (1)港湾背後の工業用地への企業誘致 **継続**

主な取組

- ・防潮堤に守られた工業用地の有利性をアピールした企業誘致活動

【施策2-1】命と暮らしを守る、災害に強い港湾の形成

(1)港湾機能継続のための災害対応力の強化

- ①港湾BCPの体制・運用の充実 **新規**
- ②災害に強い港湾機能の充実 **継続**

(2)生活や働く場の安全・安心の確保

- ①避難路の確保、港湾の就労者や利用者等の津波避難対策の推進 **新規**
- ②震災対応のノウハウの蓄積と共有、教訓の伝承 **新規**

(3)首都圏直下や南海トラフ等の巨大地震等に対する支援体制の構築

- ①緊急物資輸送・復旧資材確保等 初動体制強化 **新規**
- ②災害廃棄物の広域処理に関する取組み **新規**

主な取組

- ・訓練の実施を通じた関係者間の意識の共有
- ・港湾施設の耐震化の必要性の調査
- ・ライフライン早期復旧のための連絡体制の構築
- ・八木港の避難港としての活用
- ・産業施設や公共施設を利用して震災の経験や発災時のノウハウを掲出するとともに、避難経路を記載したリーフレットを配架
- ・関係機関と連携し、支援活動可能な体制づくり
- ・災害廃棄物処理に関する関係機関と連携した広域処理方法の検討

【施策2-2】適切な港湾機能を確保するための施設の維持管理

(1)維持管理計画の策定と適切な補修による施設の長寿命化

- ①各港におけるアセットマネジメントによる計画策定 **新規**

主な取組

- ・ライフサイクルコスト削減のため適切な維持管理計画を策定

【施策3-1】港湾空間における賑わいの創出

(1)岩手県の観光資源を生かしたクルーズ・フェリー振興

- ①クルーズ船誘致に向けた活動の推進 **継続**
- ②フェリーを利用した観光客の誘致 **新規**

(2)人々と海のふれあい拠点の活用を通じた地域の振興

- ①みなとオアシスなど港湾空間を生かした地域振興と観光の活性化 **継続**
- ②マリナーなどを利用した海洋性レクリエーションの振興 **継続**

主な取組

- ・大船渡港等を中心とした県内港湾発着クルーズ船の誘致
- ・ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据え、海外クルーズ船の寄港を目指したポートセールスの実施
- ・外国人旅行者の受入態勢整備の検討
- ・JR駅等公共交通機関からのアクセスについて検討
- ・みなとオアシス登録を推進し、東北みなとオアシスネットワーク会議を通じて地域の魅力的な取り組みを発信
- ・国体等の機会を捉えて、広く県内外にPRし、利用を促進

【施策3-2】港湾における良好な地球環境への貢献

(1)港湾空間における低炭素化・資源の有効活用

- ①モーダルシフトの受け皿である“フェリー”航路の利用促進 **新規**
- ②釜石港で“完成自動車輸送”の早期再開を目指す **継続**
- ③港湾臨海部で発生する産業副産物のリサイクル推進 **継続**

(2)海域環境への取組推進

- ①水質調査を実施し、湾内の水質を保全 **継続**
- ②良好な港湾環境の創出 **継続**

主な取組

- ・産業副産物の受入事業者の協力を得ながら、リサイクルボートの推進
- ・継続的な調査を実施し、地域住民への説明を実施
- ・県や地元自治体の観光・環境部局や観光産業との連携